

# るうてるホーム創業 60 周年記念事業報告

プロジェクト担当 大野原ひとみ, 上川美佐子, 高田真希



るうてるホームは、今年創業60周年を迎えました。これに伴い、プロジェクトを立ち上げいくつかの記念事業を企画してきました。テーマは「るうてるケアの継承～千年後の世界に向けて」。「千年」というと茫漠とした印象を受けられるかもしれませんが、私たちはそこに「未来」、「永遠」、「いつの時代も」、「これからも」という意味を託し、永い時を経た遠い未来も、私たちの理念を体現した“るうてるケア”を変わらぬ真理として、自分たちの手で世界へ広げていくという願いを込めました。

5月27日には、大柴譲治チャプレン・理事長の司式で創立記念礼拝が行われました。地域や法人の関係者、入居のお客様、職員などが集い、これからの未来に向けて思いを新たにしました。

また、同日午後からは、リラプレカリア(祈りのたて琴)の演奏の後に、社会福祉法人光の子会理事 岩切雄太氏、日本福音ルーテル天王寺教会牧師 竹田大地氏に、それぞれのご経験や実践についてご講演いただきました。その後大柴氏も加わり、上記のテーマについてご鼎談いただきました。

るうてるホームではご利用者と職員との関係性を「支えられつつ支えて」と表現し、大切にしてきました。継承という文脈で捉えた時、私たちは過去の諸先輩方から思いを託され、また未来へ思いをつなぐ存在として今ここに在るのだと思います。ひとりひとりが理念を継承していく結節点にあり、法人だけではなく社会や文化を創造していく一員でもあります。講師の先生方のお話を伺う中で、改めて日々の実践を丁寧に重ねていこうと決意することができました。

今後は、創業60周年を祝して職員の寄稿による記念誌を作成するとともに、記念品の作成などに取り組んでいく予定です。



## 後援会ご献金感謝報告

2024年4月1日から2025年3月31日までの献金総合計は、2,590,331円ございました。多額のご献金に感謝申し上げます。今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

[Redacted text]

[Redacted text]

[Redacted text]



社会福祉法人

## るうてるホーム 法人報

聖書の教えに従って  
お客様を敬い、お仕える

## 聖霊行伝～るうてるホーム 創業 60 周年を迎えて

「私(パウロ)が植え、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神なのです。」 (1コリント3:6-7)



理事長・チャプレン  
大柴 譲治

5月27日にるうてるホームは創業60周年記念日を祝いました。その報告がこの法人報とJELC機関誌の『るうてる』7月号に掲載されています。聖書には「神のなされることは皆その時にかなって美しい」(伝道の書3:11)という言葉がありますが、まことにその通りです。この60年間、私たちはかけがえのない一つひとつの出会いを積み重ねてきたのです。人間でいえば60年は「還暦」です。その歴史は10年前、滝田浩之前理事長の時代にまとめられた『支えられつつ支えて～るうてるホームの50年』(2015年10月10日発行)に詳述されています。

私は神学生時代に新約学教授の間垣洋助牧師からこう教わりました。「『使徒行伝』には、前半はペトロ、後半はパウロの働きが主として記録されている。しかしその主人公はペトロでもパウロでもなく、彼らを捉えて放さなかった神の聖霊なのだ。だからそれは『使徒行伝』と呼ばれるよりも『聖霊行伝』と呼ばれる方がふさわしい」と。その通りです。神は常に人に聖霊を注いでその御業を実現されます。冒頭に挙げた1コリント3:6-7のパウロの言葉もそのことを表しています。過去を振り返るということはそこに働く神の息吹(聖霊の働き)を私たちが再確認し、それによって神の新しい創造の御業に参与してゆくことでもあるのです。

昨年8月12日に、職員有志の発案で60年を省みる一環として、初代施設長の泉亮さんをホームにお招きしました。退職して30年、洋子夫人を見送られた泉さんは既に90歳を超えておられましたが実にエネルギッシュでした。元職員や関係者60名余が集まり、同窓会のように貴重な思い出をシェアする歴史的な日となりました。温故知新とはこのことを指すのでしょうか。まことに真の人生とは出会いです。泉語録を思い起こします。「手を出すな。しかし目を離すな」。その声にハッとさせられます。これがクライエントの自立自助をその中核に据える対人援助の基本的な姿勢であり、今も脈々とホームにおいて継承されています。

るうてるホームは具体的には婦人会連盟(現在は女性会連盟)という信徒運動の中から生まれました。創立期の辛木多恵、大原玲子、近藤美知子という理事長たちと内海季秋牧師ご夫妻の働きがその中心にありました。これまでの歴代理事長・理事会の働き、職員やホームを支えてくださった方々の祈りと献身的な働きの中でホームは歴史を刻んできたのです。2013年には現在地に移転、新しい建物が与えられました。2020年からのCOVID-19のパンデミックの際にも私たちは力を合わせてそれを乗り越えてきました。もちろん課題がないわけではありません。しかし、困難の中にあっても天からの新たな力と希望を与えられてここまで歩んでくることができたのです。ホームでは現在、新しい次世代リーダーシップの育成も進みつつあります。これからも神の御心の実現を祈り求めてまいります。お支えをよろしくお願いします。 soli deo gloria. (ただ神のみに栄光！)



# 2024 年度事業報告・決算と 2025 年度事業計画

常務理事 石 倉 智 史

2024年度は介護報酬改定、保険者の変更による地域区分の見直し等経営環境が大きく変化した年でした。また物価高騰などの経済的影響も改善が見込めない状況にあって、厳しい経営となることが当初から見込まれていましたので、年度前半には事業運営組織の改革に向けた取り組みに着手し、後半には管理的職員の再配置とともに、組織の在り方を事業中心から機能別マネジメントに変更することとしました。このことにより、法人全体を見渡せる経営戦略がたてられるように方針を変更することができましたが、組織文化を整えるまでには十分な効果が得られず、職員の離職が相次いでしまったことは大きな課題として残りました。

中期経営計画に掲げた「理念の具現化」の取り組みとして、新規採用職員向けの「職員ハンドブック」の作成をプロジェクトチームにより行いました。これらはすでに勤務している全職員にも配布し、るうてるホームの理念や使命などについて改めて共有するツールとして活用しています。

また、業務の効率化をはじめとした生産性向上のための取り組みも委員会活動を中心に推進してきました。2024年度は、オンライン学習システムや勤務表作成システムの導入、特養への見守り機器の導入をはじめ、消耗品や日用品の購入先見直しにいたるまでを現場からの意見を取り入れながらすすめることができました。

2025年度は第3期中期経営計画期間の5年が経過し、あと一年を残すこととなりました。成果および実績をふりかえり、次期経営計画へむけたアウトラインを策定していく年として、計画実行に向けてラストスパートをかけていきます。

新しい視点でのマネジメント体制を強化しつつ実効性をたかめる経営を行うため、昨年度に行った組織改革をより機能的かつスピード感をもって取り組む姿勢を堅持していきます。特に人材確保、育成に関しては待ったなしの状況となっており、職場環境の整備、業務効率化とともに成果の得られる対応に最優先に取り組めます。これまで行ってきた委員会活動も一旦ゼロベースで見直し、職員一人ひとりが意欲的に関わることのできる委員会活動を構築していきます。合わせて、職員間でのチーム力を向上させるための現場からの意見を積極的に取り入れ、業務の集約と分散を効果的に実施していきます。

また事業継続、資産管理に向けた長期投資計画に関しては十分な議論がなされていません。収益性確保に向けた現行事業の評価、分析、新規事業等の検討などを通じて、持続可能な積立金の積み立てを確実に実施していきます。

自ら改める組織づくりは昨年度からの継続課題としています。組織力とサービス品質の向上はトップマネジメントのみでは実現できないものと認識し、成長を止めない組織文化の熟成を目指していきます。

そのために昨年度新たに任命された各部門のマネジャーが経営戦略を共有し遂行することができるよう、意思決定や行動選択においてそれぞれの責任を支持することのできるチーム作りは不可欠です。これまでの慣習や業務スタイルに囚われずに「るうてるホームのありたい姿」を追求していきます。

## 2024年度決算概況

(2025年3月31日現在)

(単位:千円)

| 資産の部       |           | 負債の部         |           |
|------------|-----------|--------------|-----------|
| 流動資産       | 435,318   | 流動負債         | 99,043    |
| 現金預金       | 336,784   | 事業未払金        | 32,197    |
| 事業未収金      | 95,280    | 短期設備資金借入金    | 51,312    |
| 立替金        | 664       | 賞与引当金        | 15,534    |
| 前払費用       | 2,590     | 固定負債         | 897,320   |
|            |           | 設備資金借入金      | 862,916   |
|            |           | 退職給与引当金      | 34,404    |
|            |           | 負債の部合計       | 996,363   |
| 固定資産       | 1,721,156 | 純資産の部        |           |
| 基本財産       | 1,290,800 | 基本金          | 815,533   |
| 土地         | 534,814   | 国庫補助金等特別積立金  | 254,010   |
| 建物         | 755,986   | その他の積立金      | 183,616   |
| その他の固定資産   | 430,356   | 次期繰越活動増減差額   | △ 93,048  |
| 建物付属設備・構築物 | 87,086    | (うち当期活動増減差額) | 21,826    |
| 車両運搬・器具備品等 | 24,607    |              |           |
| 投資有価証券     | 100,000   |              |           |
| 積立資産等      | 218,060   |              |           |
| その他の固定資産   | 603       | 純資産合計        | 1,160,111 |
| 資産の部合計     | 2,156,474 | 負債及び純資産の部合計  | 2,156,474 |

事業活動計算書の要旨

資金収支計算書の要旨

(自)2024年4月1日 (至)2025年3月31日

(単位:千円)

| 科目         |               | 金額        | 科目            | 金額       |
|------------|---------------|-----------|---------------|----------|
| サービス活動増減の部 | 介護保険収益        | 509,133   | 介護保険事業収入      | 509,133  |
|            | 老人福祉事業収益      | 80,491    | 老人福祉事業収入      | 80,491   |
|            | 就労支援事業収益      | 578       | 就労支援事業収入      | 578      |
|            | 障害福祉サービス事業等収入 | 84,082    | 障害福祉サービス等事業収入 | 84,082   |
|            | 医療事業収益        | 4,420     | 医療事業収入        | 4,420    |
|            | その他事業収益       | 263       | その他事業収入       | 263      |
|            | 寄付金収益         | 2,590     | 寄付金収入         | 2,590    |
|            | サービス活動収益計     | 681,557   | 受取利息          | 655      |
|            | 人件費           | 452,553   | その他収入         | 2,434    |
|            | 事業費           | 89,058    | 事業活動収入計       | 684,646  |
|            | 事務費           | 64,282    | 人件費           | 455,484  |
|            | 就労支援事業        | 1,395     | 事業費           | 89,058   |
|            | 利用者負担軽減       | 5         | 事務費           | 64,282   |
|            | 減価償却費         | 59,749    | 就労支援事業        | 1,395    |
|            | 国庫補助金積立金取崩額   | △ 10,627  | 利用者負担軽減       | 5        |
| サービス活動増減の部 | サービス活動費用計     | 656,415   | 支払利息          | 6,627    |
|            | サービス活動増減差額    | 25,142    | その他支出         | 100      |
|            | サービス活動外収入     | 3,089     | 事業活動支出計       | 616,951  |
|            | サービス活動外支出     | 6,813     | 事業活動資金収支差額    | 67,695   |
|            | サービス活動外増減差額   | △ 3,724   | 施設整備等収入       | 5,659    |
|            | 経常増減差額        | 21,418    | 施設整備等支出       | 68,969   |
|            | 特別収益          | 6,107     | 施設整備等資金収支差額   | △ 63,310 |
|            | 特別費用          | 5,699     | その他活動収入       | 9,586    |
|            | 特別増減差額        | 408       | その他活動支出       | 2,806    |
|            | 当期活動増減差額      | 21,826    | 資金収支差額        | 6,780    |
|            | 前期繰越活動増減差額    | △ 119,874 | 当期資金収支差額      | 11,165   |
|            |               |           |               |          |
|            |               |           |               |          |
|            |               |           |               |          |
|            |               |           |               |          |